

排水路の壁面に昇降ステップ



▶ハンマードリルでコンクリートに穿孔
◀取り付けられた昇降ステップ

西側排水路の高さはところによって
少しずつ異なります。排水路の清掃の
際に水路の中に降りると、上がれなく
なることがあります。

昨年の暮れの役員会で、この対策と
して昇降ステップを何カ所か取り付け
ようということになりました。

高くても農道を横断する水路がある
付近は足がかりがあるので、比較的簡
単上がれますが、広くて高さがあると
ころは、脚立などが無いと、上がれま

せん。無理に上がろうとすると、衣服
が泥だらけになり、困ってしまうこと
がありました。

そこで鉄製の昇降ステップを地元の
山陽鋼機建設株式会社作成してもら
いました。水中になることも多いので
防錆処理が必要です。ステンレスス
チールはどうかと問い合わせました
が、想像をはるかに超える金額で、論
外となりました。

3月9日に取り付け作業を行ないま
した。必要と思われる4カ所に配置し
ました。取り付けは、ハンマードリル
で、下穴をあけ、アンカーボルトで固

定するものです。
少々ステップの間隔が狭い気がしま
したが、使うことに問題はありませ
ん。むしろ、もう何カ所か取り付けが必
要かもしれません。次年度の課題として
対応していきます。

八方原自治会の会議日程

役員会	4月6日(土)
	午後7時より (部会会長・班長)
総会	4月14日(日)
	午後7時より (正会員全員)
会場	八方原公民館



八方原からタカラジエンヌ

難関で知られる宝塚音楽学校の
第110回の卒業式が行なわれた
二ニュースをご覧になった方も多
いと思います。

今回の39名の卒業生の中で最優
秀の成績に送られる小林一三賞の
田良結芽さんは、当自治会5班に
居住されていた田良宣充・佐知子
さんご夫婦の娘さんです。

ご夫婦は事情があつてこの地を
離れましたが、その後もバ
レーや音楽の勉強を続けられてい
ることは聞いておりました。

2年前に同校に入学された
二ニュースを目にしました。地方か
ら同校に現役で合格するというの
は奇跡に近いとのことでした。

この春からは「彩葉ゆめ」の芸
名で舞台上に立たれることになりま
す。前途に広がる華やかだけど、
厳しい舞台芸術の世界に飛び込ま
れます。

山口市からは70年ぶりのタカラ
ジエンヌの誕生となりました。小
郡地区の歴史を語る上で欠かせな
い「葛原伊平」の孫娘さんが初代
のタカラジエンヌ、既に90歳を超
えられていますがお元気で。

今年度の水路の改修工事が完了



工事の状況を確認（3月16日）

施設長寿命化の事業では、2年間続けて水路の割れた部分の補修を行ないましたが、今回の西ノ池水路については部分的な嵩上げ工事を行なうこととしました。

昨年の夏の水害により多数の被害力所があり、土木関係の仕事をお願いすることが難しい状況の中で、何とか漕ぎつけたというのが実情です。

今回は西ノ池農道の南側水路（水路2B）の東詰めから約45メートルの嵩上げを実施し、3月16日完成の検査を行ないました。

豪雨による土砂の除去

昨年6月30日の豪雨で流れ出た大量の土砂が水路の中に残ったままになっていましたが、3月7日ようやく除去工事が行なわれました。

地元の中国建設工業さんが、小型のパワーショベルを水路の中に下ろしてあらかたの土砂を集めてから作業を行いました。

ただ、今回大量にたまった「泥」については、水を含むと運搬ができないということなので今回は水路の中に、ひと



土砂お除去とともにその処理も重要

年度末の自治会総会開催

3月10日、八方原自治会の総会が開催されました。毎年3月の総会では役員人事の選考が行われます。今回は会計役の任期が満了となるので、後任を決めることとなります。

また子ども会など内部の順番などが優先される団体は、その都度確認していきます。しかし、今回は十分に団体との連絡が取れないままになってしまい、本会議の中でも確認できないという事態になりました。

選考委員会で会計役には原田広文さんが決まりましたが、福祉委員の選任が決まらず、自治会長に

一任する形となってしまいました。

また自治会長が班長を兼任したいと申し出たところ、異議が相次ぎ、従前どおり兼任しないこととなりました。

副自治会長が固定しているのはおかしいという意見も出ました。審査の上承認という手続きを明確にすれば良いという結論となりました。

最後に県や関係団体に出す要望書について説明を行ない、意見を問うこととなりました。

※人事詳細については別便でお知らせします。

まとめにした状態で、置くことになりました。

今後、この大量の泥をどう移動させるか考える必要が出てきました。到底人力で対応できる量ではないので、何か良い方法を見つけることになりました。

また1班の林幸雄さんのお宅のそばの崩落現場も土砂を埋め戻し、壊れてしまった水路を素掘り水路ではありませんが、安全に水流を誘導できるようにしました。今後も見守りを欠かせません。



予算の制限のある中での最善の対応